

2019.11.1

つながり管理アプリ「Wantedly People」が日本郵便と連携 送り先の名刺があれば無料で令和最初の年賀状を送れる 「Wantedly 年賀状」を提供開始

新年の挨拶に関する調査の結果、約 8 割の人が「年賀状を受け取ると嬉しい」と回答するという結果に
Wantedly 年賀状ページ URL : <https://people-nenga.wantedly.com/>



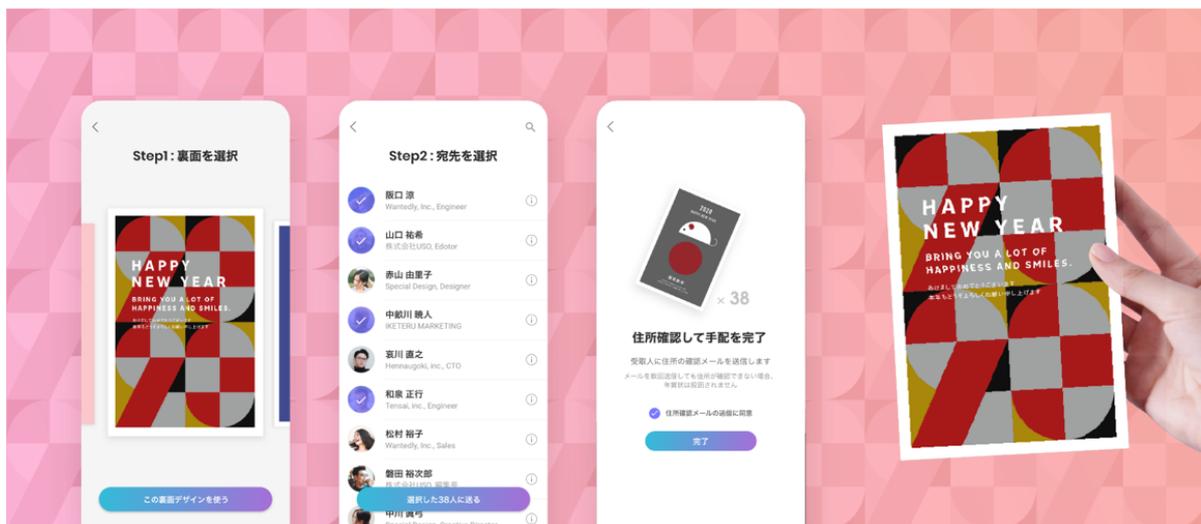
ウォンテッドリーが運営するビジネス SNS「Wantedly」のつながり管理アプリ「Wantedly People」にて、日本郵便株式会社（代表取締役社長：横山 邦男／以下、日本郵便）と連携し、読み込んだ名刺の情報から年賀状を無料で送れる『Wantedly 年賀状』を昨年に続き、本年も提供いたします。

「Wantedly 年賀状」について

平成 31 年の年賀状発行枚数は約 25.6 億枚※と減少傾向にあるものの、ウォンテッドリーが実施したユーザーアンケートでは、約 8 割の方が「年賀状を受け取ると嬉しい」と回答し、年賀状を送る上で「自分でデザインする」「印刷をする」「送り先の住所調べ」が面倒と回答した方は 4 割以上にのぼりました。

※日本郵政グループプレスリリース「2019（平成 31）年用年賀葉書及び寄附金付お年玉付年賀切手当せん番号の決定」

一から作るには手間がかかるものの相手に喜ばれる年賀状を、つながりが大事なビジネスパーソンにこそ簡単に送れるようにしたい。そんな想いを込め、ウォンテッドリーは昨年に続き日本郵便と連携し、デザインや印刷、住所調べをすることなく「Wantedly People」アプリから 3 ステップで年賀状を無料で送れる『Wantedly 年賀状』を提供します。



「Wantedly 年賀状」機能詳細について

「Wantedly 年賀状」は、「Wantedly People」でスキャンした名刺交換相手に対して、日本郵便発行のお年玉付き年賀はがきを無料で作成/郵送できるサービスです。

- ・作成/郵送期間：2019年11月1日（金）09:00～2020年1月6日（月）11:00
※2020年1月1日（水・祝）に届けるには、2019年12月22日（日）23:59までに手続きが必要。
- ・作成/郵送可能枚数：先着3万枚（予定枚数に到達するまで何枚でも作成/郵送が可能）
- ・対象：「Wantedly People」アプリをインストールし、ログインしているユーザー
- ・価格：無料

【作成/郵送方法】

1. 「Wantedly People」を起動し、年賀状作成アイコンをタップしてください。
2. 年賀状のデザインを10種類あるテンプレートから選択してください。
3. 年賀状の送り先を、名刺交換相手の中から選択してください。
4. 送り主の住所を確認してください。
5. 選択した名刺交換相手に対して、住所確認メールを送信されます。
6. 住所確認メールを受信した名刺交換相手が、住所を確認します。

▼年賀状デザイン

「Wantedly 年賀状」で送れる年賀状は、Wantedly Peopleのスマートでカジュアルな世界観をベースに様々なテイストでデザインし、最終的に10種に絞り込みました。



「新年の挨拶に関する意識調査」について

「Wantedly People」ユーザーを対象に、「新年の挨拶に関する意識調査」を実施しました。

【調査概要】

- ・調査方法：「Wantedly People」内のアンケート機能
- ・対象：「Wantedly People」ユーザー（2,868件）
- ・実施期間：2019年9月18日～9月30日

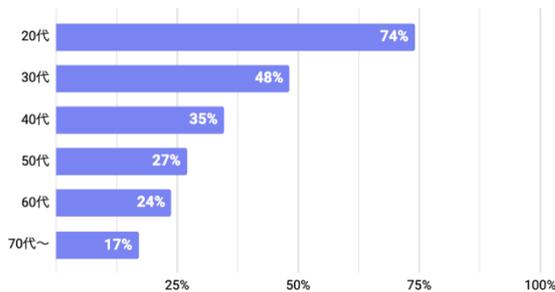
【調査結果サマリー】

- ① 「新年の挨拶を送る手段」として年賀状を選んだのは 20 代の 30%以下という結果に。一方、30 代以上の約 6 割以上が新年の挨拶を送る手段として年賀状を選択
- ② 「年賀状を受け取った方が嬉しい」と答えた人が全年代で約 8 割超え
- ③ 年賀状を送る上で面倒なこと TOP3 は「自分でデザインする」「印刷をする」「送り先の住所調べ」
- ④ 「名刺をスキャンするだけで無料で年賀状を送れたら嬉しい」と回答した人が約 8 割という結果に

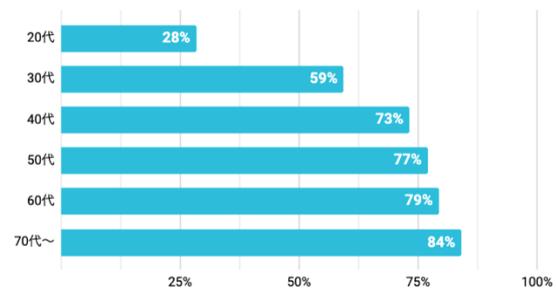
【調査結果詳細】

- ① 「新年の挨拶を送る手段」として20代は7割以上がメッセージアプリを利用し、年賀状を出すのは30%以下という結果に。30代以上では年賀状を送る割合がメッセージアプリを上回るという結果になった。

新年の挨拶はメッセージアプリで個人やグループに送る

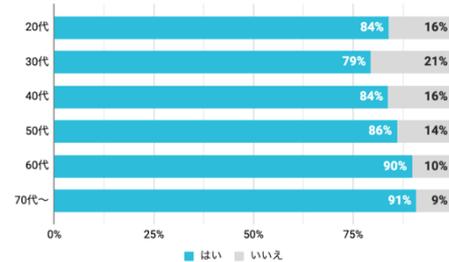


新年の挨拶は年賀状を送る



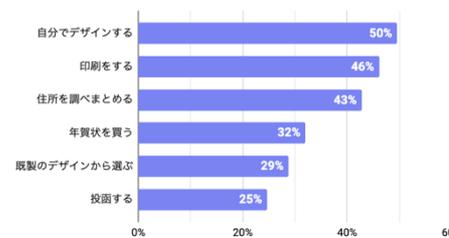
- ② 「年賀状を受け取ると嬉しいですか？」という質問に対して全世代で約8割以上が「嬉しい」と回答。

年賀状を受け取ると嬉しいか



- ③ 「年賀状を作る上で最も面倒な作業は？」という質問に対しては、「年賀状を自分でデザインする」「印刷する」「送り先の住所をまとめる」ことが約4割超えという結果に。

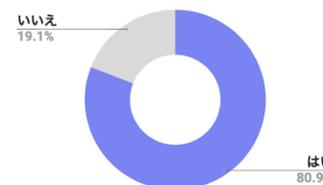
「とても面倒」「面倒」と回答した人数割合 (複数回答可)



- ④ 「送り先の名刺をスキャンするだけで無料で年賀状が送れると嬉しいですか？」という質問に対して8割以上の方が「嬉しい」と回答。

※他、調査結果に関しては、別途調査報告書をご参照ください。

送り先の名刺をスキャンするだけで年賀状を無料で送れたら嬉しいか



Wantedly People は、ユーザーが名刺交換をきっかけに人脈を構築し深め、共感できる仲間と出会うきっかけを創出することで、シゴトでココロオドルひとをふやすことを目指しています。今回、Wantedly 年賀状の提供を通じて、つながりが重要なビジネスパーソンがより手軽に相手に喜ばれる年賀状を送り、つながりを深めることを可能にすることで、シゴトでココロオドルひとであふれた世界の実現を目指します。

Wantedly People について

「Wantedly People」は、複数枚の名刺をスマートフォンのカメラで同時に読み取り、瞬時にデータ化ができる、無料のつながり管理アプリです。主な特徴は以下になります。

サービス詳細：<https://people.wantedly.com/>

1. 人工知能が最大 10 枚の名刺をリアルタイムで解析、瞬時にデータ化。スキャンスナップとも連携。
2. 読み込んだ名刺の持ち主が「Wantedly」に登録している場合、そのプロフィール情報を連絡先へ同期。
3. 一定時間で使用不可となる URL を利用した、オンライン上での名刺の貸し借り機能。
4. 他のツールで管理している名刺データを CSV 形式で移行できるインポート機能。
5. 氏名や企業名だけでなく、役職名、電話番号、メールアドレス、住所、メモからも検索が可能。
6. PC 版から読み込んだ名刺の情報の閲覧/編集が可能。CSV ファイルでのデータエクスポートにも対応。
7. 交換した名刺の情報をもとに“関連記事”を提供し、ビジネス上の人脈構築をサポートする機能。
8. スマートフォンの連絡先と連携し、名刺交換相手からの着信時に発信者の名前を表示。
9. 過去の名刺や副業で使用している名刺など、複数枚の名刺をプロフィール上に登録可能。
10. 「Wantedly Visit」利用企業からスカウトを受け取れる「People スカウト」機能

プロダクトに関するお問い合わせ：support@wantedly.com

広告販売に関するお問い合わせ：wp_sales@wantedly.com

ウォンテッドリーについて

ウォンテッドリーは、『シゴトでココロオドルひとをふやす』ために、はたらくすべての人が共感を通じて「であい」「つながり」「つながりを深める」ためのビジネス SNS 「Wantedly」を提供しています。2012 年 2 月のサービス公式リリースから現在まで、登録会社数 33,000 社、月間ユーザー数 260 万人を突破し、国境を越えて『はたらくすべての人のインフラ』を創っていきます。

<会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社
URL : <https://www.wantedly.com>
本社所在地 : 東京都港区白金台 5-12-7 MG 白金台ビル 4F
代表取締役 : 仲 暁子
設立 : 2010 年 9 月
事業概要 :

月間 260 万人が利用するビジネス SNS 「Wantedly」

- 会社訪問アプリ 「Wantedly Visit」

- つながり管理アプリ 「Wantedly People」